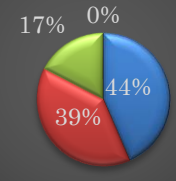
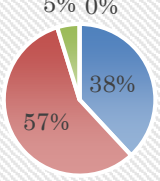
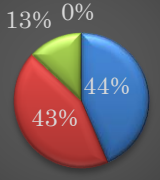
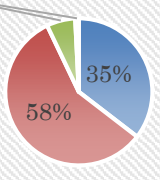


平成 28 年度学校評価について

北海道標茶高等学校

		設問	評価内容	自己	保護者	
I 教育 目標	1		本校の教育目標が本校の教育使命と本校が育てる生徒像を現し、地域の皆様の要望に えるものになっている。／4.0	3.3	3.3	
	2		本校の教育目標の達成に当たり、現在の教育課程は適したものとなっている。	3.4	—	
			<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>設問 1 自己</p>  <p>■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>設問 1 保護者</p>  <p>■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1</p> </div> </div>			
	<p>記述意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター試験に対応できる高い学力の向上が求められている。 ・生徒一人ひとりを意識した教育課程の改善がなされている。 ・大学進学志望者に対する集中学習会を企画する。 <p>改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学科の特性を踏まえ、地域の要望等を柔軟に取り入れ、主体性の向上に対応した教育課程とする。 ・地域の方々に活動を理解して頂くために、授業公開等の方法を工夫する。 <p>関係者評価A～D 自己・保護者評価 B 取組・改善方策 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望を反映し、町民へのアピール度が高い。 					
II 各 種 指 導	今年度の目標		設問	評価内容	自己	保護者
	1 学 習 指 導	(1)授業における基礎的・基本的内容の確実な定着	3	本校では、学校教育目標に則り、教育活動に取り組んでいる。	3.3	3.3
		(2)アクティブラーニングの導入と評価の工夫	4	本校では、生徒一人ひとりにわかる授業や適切な対応を行い、生徒を伸ばしている。	3.1	3.1
		(3)学習習慣定着の取組 (4)シラバスの一層の改善・充実	5	本校では、新たな学習指導要領を理解し、授業改善を行っている。	3.2	—
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>設問 3 自己</p>  <p>■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>設問 3 保護者</p>  <p>■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1</p> </div> </div>				

記述意見等

- ・学力や能力に個人差があり指導に苦慮している。
- ・授業改善のための教材研究を実施している。
- ・不登校や退学、成績不振、欠点の生徒を減らす取組を要する。

改善方策

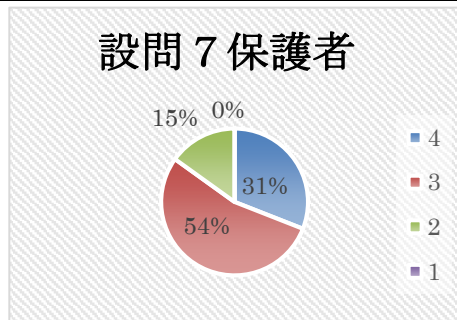
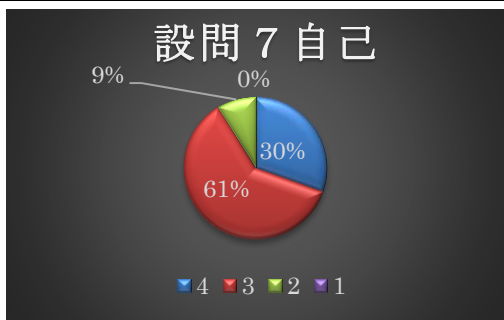
- ・総合学科の特性を生かし、生徒が主体的に学習に向かう教育課程の編成に努める。
- ・業務の効率化を図り、効果的な授業準備等ができるよう工夫する。
- ・生徒一人ひとりの実態を共有し、計画的で組織的な教育活動を進める。

関係者評価

自己・保護者評価 B 取組・改善方策 B

- ・教科担当者同志での研修の強化が必要である。
- ・推薦による進学だけではなく、様々な入試に対応できる力も必要である。

今年度の目標	設問	評価内容	自己	保護者
2 生 徒 指 導	6	本校では、生徒に挨拶や礼儀などの基本的な生活習慣や規範意識や社会的マナーが身につく教育が行われている。	3.2	3.1
	7	本校では、生徒の日常の様子や生徒間の人間関係など日頃から生徒観察に努め、全職員で生徒理解を深め、きめ細かい生徒指導に取り組んでいる。	3.3	3.1



記述意見等

- ・生徒一人ひとりの行動を把握した生徒指導を心がけている。
- ・良い挨拶のできる生徒が多い。
- ・学校行事や系列事業・HR活動等をより組織的に運営する必要がある。
- ・生徒の将来性を信じた指導の必要がある。
- ・町民から信頼される生徒の育成に当たる。
- ・目まぐるしく変化する社会への対応が大事である。

改善方策

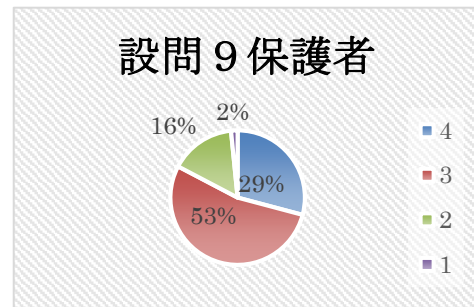
- ・教職員間で積極的にコミュニケーションとれるような雰囲気づくりが必要である。
- ・特別支援委員会を中心とした支援教育を充実させる。

関係者評価

自己・保護者評価 A 取組・改善方策 B

- ・支援を必要とする生徒に対して保護者を含めたコミュニケーションの場の定期的な設定を要する。
- ・マナーや常識の日常的に考えさせる指導を要する。

今年度の目標		設問	評価内容	自己	保護者
3 キ ャ リ ア 指 導	(1)全体計画の明確化による目指す生徒像の実現	8	本校では、生徒に対して総合学科の特性を生かし、各個人の適性や進路希望に応じた進路指導が行われている。	3.5	3.2
	(2)進路目標 100%達成	9	本校では、生徒や保護者に対して進路に係る資料や情報、助言を迅速、かつ適切に提供している。	3.2	3.2
		10	本校では、生徒に対し、生き方や職業観の醸成に努め、社会に通ずる人づくりがなされている。	3.5	—



記述意見等

- ・進学希望の生徒に対する指導の充実を図る。
- ・協働による系列事業のねらいや活動の保護者への確かな伝達が必要である。
- ・進学の必要性を理解させそのための体制の充実を図る。
- ・若さと活気にあふれた学校づくりがなされている。
- ・進路目標を明確にした指導、アドバイスの実施。また職員一丸となった指導ができています。

改善方策

- ・各種事業の整理と精選を進める。
- ・生徒、保護者の意向を踏まえ適切な進路指導に努める。
- ・3者面談や進路相談会など事前、事後の指導を徹底する。
- ・Web ページや進路啓発資料等の情報を保護者に必ず届け、保護者のコメントを頂くなど情報収集の方法を工夫する。

関係者評価

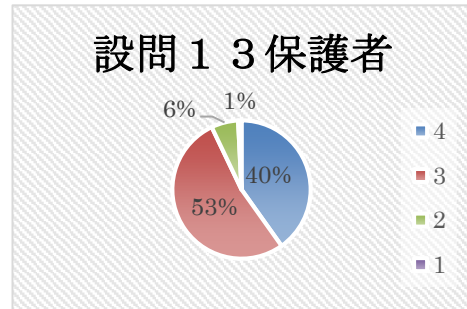
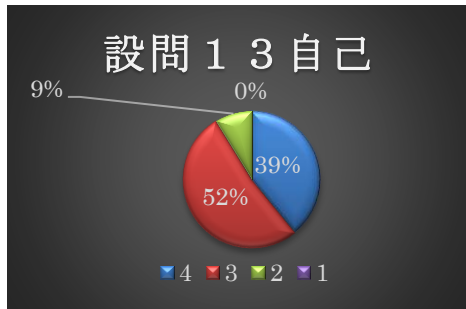
自己・保護者評価 A 取組・改善方策 B

- ・ボランティアや地域活動の経験を生かした就職先の斡旋が望まれる。
- ・卒業生の進路先での定着状況について情報を把握する。

今年度の目標		設問	評価内容	自己	保護者
4 寮 ・ 専 門 ・	(1)寮での規律ある集団生活	11	本校では、寮内生活指導が適切に行われおり、健康や安全面に配慮されている。	3.4	—
	(2)農場の有効活用	12	本校では、施設設備を活用した専門教育が効果的に実践されている。	3.1	—
	(3)生徒の自主性が育つ計画的な運営	13	本校では、特別活動・部活動・生徒会・農業クラブ活動等への積極的な取組を通して何事も主体的に取組む姿勢の人間力を育てており、その成果が現れて	3.3	3.3

特別活動指導

いる。



記述意見等

- ・施設設備の老朽化に伴う更新改修の必要性がある。
- ・地域の実態に照らし合わせた農場の有効活用をすすめる。
- ・部活や特別活動への積極的な参加を促す取組が必要である。
- ・部活動では、生徒の自主性を育て正しい方向に進めるよう指導している。
- ・校内発表やグループ学習などで一部生徒への負担が増している。

改善方策

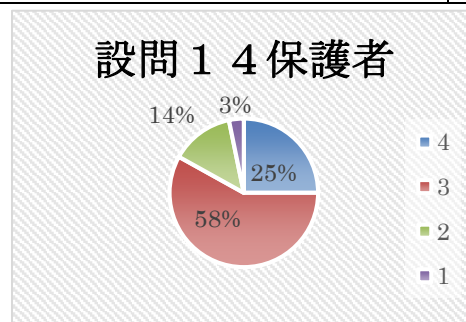
- ・多くの生徒が部活動や各種行事に加盟し、活性化に向けて工夫している。
- ・生徒会や農業クラブが主体的に地域の活動に参画できるよう調整を行う。
- ・生徒の実態把握につとめ、適宜生徒・保護者と協働で指導に当たる。

関係者評価

自己・保護者評価 B 取組・改善方策 B

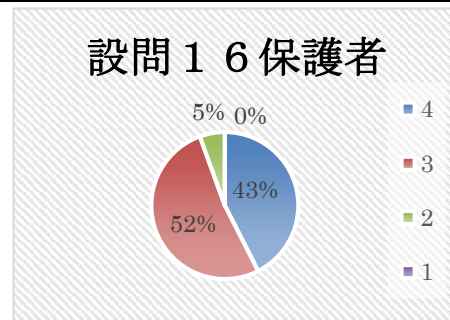
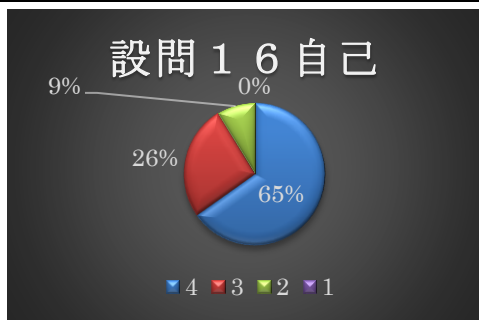
- ・地域外（外国）からの受入も視野に入れ、生徒数の確保に努める。
- ・入学する生徒は部活動に相当の意欲持っており、部によって指導体制の差がないよう取り組ませる。
- ・卒業後の就職等でも部活動の状況が重要視されているところが多い。

今年度の目標		設問	評価内容	自己	保護者
Ⅲ 重 点 対 応	(1) いじめの早期発見と早期対応	1 4	本校では、いじめの実態把握や対応について適切に対応している。	3. 0	3. 0
	(2) 防災安全点検の確実な実施と不具合箇所の早期修復	1 5	本校では、事故・災害などへの対応を熟知し、生徒の安全確保・事故の未然防止に努め、日頃から危機回避の行動を心がけている。	3. 3	3. 3



記述意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめのない組織的な取組が必要である。 ・迅速な情報の共有化を図る。 ・人間関係などの状況を把握する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を組織し、関係者（当該者・保護者・教職員）が協働で取り組む体制をつくる。 ・情報共有が円滑におこなえるようピア・サポートを意識した雰囲気づくりに取り組む。 ・早期発見と早期対応に努める。
関係者評価	<p style="text-align: center;">自己・保護者評価 B 取組・改善方策 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学したくなる学校となるよう安心できる学習環境をベースに取り組ませる。

今年度の目標		設問	評価内容	自己	保護者
IV 連 携	(1)関係機関等との連携事業	16	本校で、地域の人材や課題を生かして授業等に取り組んでいる。	3.6	3.4
	(2)ねらいの明確化と整理				
	(3)定例職員会議での生徒の状況に関する情報共有	17	本校では、PTA や同窓会など関係団体と積極的に関わり、充実した活動となるよう努めている。	3.2	—
		18	本校では、学校の教育方針や教育活動などが学校通信や Web ページ、報道等を通じて保護者や地域住民の方々に説明している。	3.3	3.3



記述意見等

- ・保護者が学校を支援する機会の充実を図る。
- ・Web ページ等の更新が遅いなどの改善を図る。
- ・個人情報の管理について徹底する。
- ・すばらしい取組が多く今後も継続して実践する。

改善方策

- ・地域の実態や保護者の意向についてアンケート調査等を行い、効果的な広報活動となるよう工夫する。
- ・情報処理委員会の活発な活用を企画する。
- ・USB や校内サーバー等の管理の徹底を図る。

関係者評価

自己・保護者評価 **A** 取組・改善方策 **A**

- ・町民にも生徒の活動の様子や学校行事等もよく周知されている。
- ・町広報に同封してあるので町民の目にも触れることができる。

		設問	評価内容	自己	保護者																				
V 服 務	サービス規律の徹底	19	本校では、全教職員が個人情報の管理や交通事故、セクハラなど、サービス規律の保持について常に公務員としての意識を持って業務に当たっている。	3.3	—																				
		20	本校では、校内外の研修に参加し、その成果が共有されている。	3.0	—																				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>設問 19 自己</p> <table border="1"> <caption>設問 19 自己</caption> <thead> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>48%</td></tr> <tr><td>3</td><td>39%</td></tr> <tr><td>2</td><td>13%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>設問 20 自己</p> <table border="1"> <caption>設問 20 自己</caption> <thead> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>26%</td></tr> <tr><td>3</td><td>48%</td></tr> <tr><td>2</td><td>26%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>						評価	割合	4	48%	3	39%	2	13%	1	0%	評価	割合	4	26%	3	48%	2	26%	1	0%
評価	割合																								
4	48%																								
3	39%																								
2	13%																								
1	0%																								
評価	割合																								
4	26%																								
3	48%																								
2	26%																								
1	0%																								
<p>記述意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が教育公務員として自覚を持ち職務に取り組んでいる。 ・個人情報の管理を常に意識する。 ・研修報告が適切に実施されていないものがある。 																									
<p>改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に不信感を抱かさない指導助言に努める。 ・個人情報の管理の徹底と危機意識の高揚を図る。 ・業務を精選して効率化を図り授業準備時間と研修報告会を実施する。 ・サービス規律の保持のため、内部チェックできる機能をもった学校体質をつくる。 																									
<p>関係者評価 自己・保護者評価 A 取組・改善方策 B</p>																									